



▲今年、第1回目まつり塾の様子
「ステージでは伝統芸能や若手のダンスなどが楽しめます。『宵祭りに華を添えてくれるそうです。』」

秋田竿燈祭りから竿燈が登場し、宵祭りに華を添えてくれるそうです。さらに今年はゲスト団体として、秋田竿燈祭りから竿燈が登場し、宵祭りに華を添えてくれるそうです。さらに今年はゲスト団体として、秋田竿燈祭りから竿燈が登場し、宵祭りに華を添えてくれるそうです。

宵祭りに全員集合！

「昨年作成した山鉾は、荒天のため、まつり直前で一部が破損してしまいました。それをきれいに修復し、よみがえらせます。さらに今年は、会場内で山鉾を巡行します」と酒田まつり宵祭りの見どころを語る菊池さん。酒田青年会議所の第49代理事長として、宵祭りの企画運営をけん引しています。



Kikuchi Takehiko
菊池 武彦さん(二番町)
公益社団法人酒田青年会議所 理事長

さかたの風 かぜ 今月の人

「若者が参加することで、酒田まつりは自分たちのまつりだという熱い思いが芽生え、酒田まつりに対する愛、さらには酒田に対する郷土愛が育ちます」と笑顔で語る菊池さん。爽やかな口調の奥に、酒田を大切に思う熱い思いが感じられました。

「酒田まつりは市民全員、市全体で盛り上げていきたいですね。参加団体や関係者だけで盛り上がるのではなく、みんなが参加できるまつりを目指しています」という言葉通り、青年会議所では市民の皆さんが参加できる「まつり塾」を開き、「見る側」から「参加する側」に加わってもらえるよう活動しています。今年で3年目を迎えるまつり塾には、高校生から20代を中心に約100人の参加申し込みが来ているそうです。

「日和田に会場を移したばかりのころは、皆さんが宵祭りに来てくれるか不安でしたが、今では手応えを感じています。再びまつり会場の中心部で開催できるようにすれば、さらにまつりが活気づくと思います」

観客から演者へ

旬の食材を使った料理を酒田市食生活改善推進員が紹介します

酒田の旬 13

ミズの炒め煮



【材料】(4人分)
 ミズ……………150g
 塩……………少々
 生シタケ……………2枚半
 ニンジン……………50g
 タケノコ(水煮)……………50g
 糸コンニャク……………80g
 サラダ油……………大さじ1/2
 ゴマ……………大さじ1/2
 ゴマ油……………小さじ1/2
 A { しょうゆ……………大さじ1
 みりん……………大さじ1/2
 酒……………大さじ1/2
 だし汁……………大さじ1+1/2

【作り方】
 ①ミズは葉を取ってから3割幅に切り、塩を入れて沸騰させたお湯でゆで、ザルに上げてそのまま冷ます。
 ②シタケは石づきを取って1割幅に切り、ニンジンとタケノコは千切り、糸コンニャクはざく切りにする。
 ③鍋にサラダ油を入れ、②を加えてしんなりするまで炒め、Aを加えてさらに炒める。①を加えて汁気がなくなるまで炒め、ゴマとゴマ油を入れてひと混ぜする。

食生活改善推進員からの **ワンポイント** ミズとさつま揚げや、ミズとうす揚げのみのシンプルな材料でもおいしくいただけます。

東北公益文科大学

キャンパスレポート 37


入学の時を迎えて

櫻井 廉(1年)

私はこの4月に、第15期生として東北公益文科大学に入学しました。新生活への不安はあるものの、それ以上に入学の喜びと、これから始まる大学生活への期待で溢れています。

企業活動に興味がある私は、経営コースでの講義や必修科目である情報リテラシーや情報特別選抜に特に期待しています。これらの学びから幅広い知識を身に付け、自ら新しいことに挑戦していきます。さらに学業以外のサークル活動や地域活動、海外留学などにも積極的に参加したいと考えています。広い世界を肌で感じ、自らの視野を広げ深めていくつもりです。

大学生活では時に悩み、立ち止まることもあるでしょう。しかし多くの友人と学びや活動をともにし、そうした悩みを糧にして、互いによき仲間として成長していきたいと思います。



園東北公益文科大学広報担当 ☎41-1117



本社



代表取締役 茜谷 聡 さん

発明や新製品に欠かせない遊び心を大切にしています。

おしごと拝見

市内企業の優れた技術力や製品、サービスを紹介します。

vol. 25

長い歴史とベンチャー精神

当社は鉄筋などの鋼材、トタン板などの各種建設資材の卸売や、建設工事を手掛けており、創業から今年でちょうど百年を迎えます。

建設資材については、お客さまの要望に沿って切断、曲げ、溶接などの加工を行い、付加価値を高めた製品として納品しています。これに加え、独自の発想で新分野への参入について常にチャレンジしています。

「初めて」にこそ価値がある

当社には国土交通省の新技术活用システム「NETIIS」に登録された二つの新工法があります。

一つは「SA工法」です。工場や店舗の金属製トタン屋根に取り付ける雨樋を補強する工法で、強度に優れ、短期間での施工が可能です。

二つ目は「ジオ・ダブルサンド工法」です。地盤を補強用シートと防水シートで挟み、水が浸透する管を埋め込むことで、地震の際に地表に向かう地下水を横方向に逃がし、陥没や液状化を防ぎます。自然のエネルギーに逆うのではなく、逃がすという全く新しい発想の、早く、安く、強い工法です。道路下に施工すると、霜柱による舗道面のひび割れ（凍上災）防止効果もあります。

【企業の概要】

沿革 大正4年石炭業として創業、昭和28年株式会社化。昭和50年現地に移転、昭和63年鶴岡営業所開設、平成24年現商号となる。

商号 株式会社茜谷

資本金 1,000万円

住所 酒田市岡羽町3-1 ☎26-1811

代表取締役 茜谷 聡

従業員数 17人

事業内容 金属製品製造、建設資材販売および工事

ホームページ <http://www.akaneya-sa.jp/index.html>



ジオ・ダブルサンド工法の施工



板金屋根材の加工

ロール状に巻かれたトタン板を、お客様の要望に応じて均等に切り出し、曲げ加工を行います。

人とやりとりをする力

酒田っ子 子育て講座

すくすく

85

お問い合わせ
子育て支援課 ども支援係
☎26・5735

東北公益文科大学教授
國眼眞理子 先生

マーちゃんのいとこのカナちゃんは今、生後2か月。機嫌がよいときや大人が話し掛けると、泣き声ではない声を出します。その声に反応すると、ご機嫌な表情を見せ、手足をゆすつて応えます。ママが声を掛け、カナちゃんが応え、またママが声を掛ける。そんな様子を見ていると、まるで二人は会話をしているみたいですね。

人とやりとりをする力は、まだことばを話さない時期から育まれています。3か月ごろになると、ご機嫌なときに大人のひと、ことに女性があやすと、ほほ笑みで応じてくれます。そのほほ笑みを見るとき、ついでにまた声を掛けたくくなります。赤ちゃんはまるで、周りの人からの働き掛けを、自ら引き出しているようです。でも残念ながら、子どもがあやしても反応は乏しいようです。カナ

ちゃんがもう少し大きくなってから、マーちゃんが「カナちゃん、バア」と声を掛けても、応えてくれないかもしれません。

この後、4か月を過ぎる頃からは、機嫌がよいと「アー」「ブー」「マン」といった声を盛んに出すようになり、その声に周囲が反応すると応えるようになります。

子どもは、自分の働き掛けに間をおかず、タイミングよく応えてくれるひとが好きです。「ねえ、こつちをみてごらん」と子どもの関心を大人の方へ誘うよりも、子どもが楽しんでいるところへ行つて、一緒に遊びながら声を掛けてみましょう。会話のようになり、人が周りの人への関心を深めます。人とやりとりすることの楽しさを知るのには、言葉を話し始めるよりずっと前からなのです。